

# ショウティックかわら版

昭和電工株式会社喜多方事業所  
昭和電工喜多方アルミ株式会社  
発行日：2021年3月31日  
第44号

## 喜多方事業所より

平素より当社の事業活動に対しましてご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

2020年は激動の1年となりました。新型コロナウイルスが世界中を席卷し、日常生活も大きく変化せざるを得ない1年だったと思います。昭和電工グループも世界的な景気変動の影響を大きく受け、厳しい1年となりました。

当事業所においても、主要な最終用途である自動車産業の影響を受け、厳しい状況が続いていましたが、少しずつ前を向けるようになってきたと感じています。コストダウンの顕現や、新規開発製品の円滑な立ち上げなどを通して、喜多方での事業を強化すべく、従業員一丸となって頑張っています。

他方でポジティブな変化もございました。昨年は昭和電工マテリアルズ(株) (旧日立化成(株)) がグループの一員として加わり、「化学の力で社会を変える」を存在意義(パーパス)に掲げる世界トップクラスの機能性化学メーカーを目指す第一歩を踏み出しました。

2023年1月の完全統合に向けて、今年7月には昭和電工マテリアルズ(株)との実質統合(指揮命令系統の統一/コーポレート機能の統合)を予定しています。パーパスの充足に向けて「世界で戦える会社」「持続可能なグローバル社会に貢献する会社」の実現のために邁進して参ります。

「ショウティックかわら版44号」をお届けします。ご高覧いただき、当社の理解の一助になれば幸いです。



昭和電工森川社長(左)と昭和電工マテリアルズ丸山社長(右)の対談の様子。  
社長メッセージやグループ報に掲載の対談を受けて、従業員も統合が近づいていることを感じています。



喜多方事業所本事務所





## 「年頭安全朝ビラ入れ」を実施しました。

昭和電工喜多方アルミ（株）では、1月4日「年頭安全朝ビラ入れ」を実施しました。

「年頭安全朝ビラ入れ」とは新年最初の出社日に実施している行事です。本年も安全衛生委員会メンバーと橋本社長が正門前に立ち、出社する従業員に対してビラを配布し、安全の啓発をおこないました。

また、当社では3月1日にも管理職以上のメンバーによる朝ビラ入れをおこないました。過去に当社グループで発生した重大事故を風化させないよう、毎年事故発生日に実施をしております。

従業員一同、2021年の無事故・無災害にむけて決意をあらたに致しました。

当事業所では今後も安全操業に向けた取り組みを継続して参ります。



雪の中、早朝からビラ入れをおこないました。

## 東日本大震災から10年

2011年3月11日に発生した東日本大震災から10年が経過しました。

昭和電工グループでは弔意表明のための黙祷をささげており、当事業所でも地震発生の14時46分に、犠牲になられた方々を悼んで、従業員が黙祷を捧げました。



事業所での黙祷の様子



毎年本社で開催された「福島・会津マルシェ」は大盛況でした

昭和電工グループでは、会津若松市役所と喜多方市役所の協力のもと、福島県産の食品（野菜、果物、清酒等）を販売する「福島・会津マルシェ」を本社にて毎年開催してまいりました。2020年は新型コロナウイルス感染症の影響を受けて残念ながら中止となってしまいましたが、今後も復興支援につながる取り組みを継続してまいります。

発行元：昭和電工(株)喜多方事業所(総務課)  
お問合せ先：福島県喜多方市字長内7840  
電話：0241-22-1261

